

列品目録

No	作品名	員数	No	作品名	員数
一、新田義貞と新田塚建碑					
1	新田義貞公奉宝劍於海神像	1 個	29	昭和8年陸軍特別大演習福井行幸御親拂御写真	1 枚
2	松平春嶽筆「新田義貞公550年祭奉納書付」	1 通	30	明治17年2月各宮家寄附全明細記	1 枚
3	新田義貞公神影（肖像画）	1 幅	31	昭和3年大嘗祭ニ付幣帛目録	1 通
4	結城宗広書状 正中元年（1324）9月26日付	1 幅	32	祭神600年祭御下賜祭粢沙汰書	1 通
参考展示A	足利尊（高）氏在判御教書 建武3年（延元元年=1336）7月5日付	1 幅	33	祭神600年祭各宮王公家御下賜幣帛料包及目録折紙	1 式
	金梨地蒔絵花模様丸窓入龍神文様鏡	1 面	34	『芳名帳』	1 冊
6	新田公御馬上甲冑御姿本像	1 個	35	藤島神社御靈代旗	1 疋
7	鉄製壺	1 口	36	別格官幣社藤島神社境内全図	各1枚
二、藤島神社の祭神と神宝					
8	朱塗金銀色日ノ丸印軍配	1 振	37	有栖川宮戻仁親王御筆「藤島神社」社号額	2面
9	腰貝	1 個	38	北白川宮能久親王御筆「藤島神社」社号幅	1 幅
10	「新田義貞決戦之図」錦絵	1 枚	39	久邇宮朝彦親王御筆「遠の前國の藤嶋社え」の和歌幅	1 幅
11	鉄製銀象嵌冑鉢	1 頭	40	松平春嶽（慶永）他和歌短冊貼交幅	1 幅
参考展示B	新田塚碑文拓本幅	1 幅	41	祭神600年祭記念各宮家妃御歌短冊	6枚
	井上馨筆「修新田塚義貞500年有感」の詩幅	1 幅	42	松平康昌筆「武運長久」の書幅	1 幅
三、藤島神社の祭礼と宝物					
12	新田塚写真	1 枚	43	松平慶民筆「神國日本」の書幅	1 幅
13	越前国吉田郡藤島神社諸殿全備之図	1 枚	44	足代弘訓筆「源義貞朝臣」の和歌短冊幅	1 幅
14	「藤島神社成工境内之全景」写真	1 枚	45	鳥野幸次筆「詠史」の和歌短冊	3枚
15	新田義貞公還座藤島神社社号制定奉告祭並びに別格官幣社加列奉告祭祭文	各1通	46	伝尊良親王御筆「和漢朗詠集」写本	1巻
16	鈴木真年編『新田族譜』本版本	1 冊	47	橋本寅山（綱常）稿青木龍峰筆「弔新山公」の詩幅	1 幅
17	『新田族譜』版本	3 枚	48	西脇呂石筆「新田公600年大祭書感」の詩幅	1 幅
18	新田義貞贈位記	各1通	49	久保田米庵筆「生品神社社頭の図」	1 幅
19	藤島神社神階「正三位」昇叙奉告祭祭文（策命）	1 通	50	村上九郎作作「福村ヶ崎岡」彫刻額	1 面
20	「藤島神社創建記」碑文原稿	1 卷	51	能面	2面
21	熊野九郎奉納の書	1 卷	52	松平春嶽所用具足断片	1 点
22	駒屋義助贈位記並びに太政官通達書	各1通	53	『越前国古今名蹟考』写本	12冊
23	駒屋義助贈從三位叙奉告祭祭文（策命）	1 通	54	太刀 銘 備中國住吉次 正中3年3月日	1 口
24	贈正三位新田義貞公贈正一位叙奉告祭祭文（策命）	1 通	55	太刀 銘 則重	1 口
25	新田義顯・義興・義宗贈從三位叙位祭文	1 通	56	太刀 銘 包平	1 口
26	新田義顯・義興・義宗贈位記並びに宮内省通達書	各1通	57	短刀 銘 来国光	1 口
27	大正4年御大典奉幣使祭文	1 通	58	新田公600年大祭記念縣下学至美術展奉納作品集	1 冊
28	昭和3年御大典奉幣使祭文	1 通	59	新田公600年記念全国小中等学校園画成績帖	1 冊
			60	新田公600年記念全国小中等学校習字成績帖	1 冊

ギャラリートーク

日時 3月28日(日) 午後2時～
場所 郡土歴史博物館 2階 企画展示室
日時 4月11日(日) 午前10時30分～
場所 郡土歴史博物館 2階 企画展示室

『解説シート No.49』 平成22年3月19日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 0776-21-0489 Fax 0776-21-1489
担当：角鹿尚計、松村知也

平成22年春季特別展

藤島神社の宝物

- 会場 2F:企画展示室
- 会期 平成22年3月19日(金)～5月5日(水)

足羽山に鎮座します藤島神社は、鎌倉時代末～南北朝時代の武将として著名な新田義貞（1301～1338）を祭神として明治3年（1880）燈明寺跡に祠が建てられ、同9年に別格官幣社に加列、藤島神社と号して同14年福井市牧ノ島に遷り、さらに同34年（1901）現在地に遷座しました。その後皇室各宮家・越前松平家などの崇敬が篤く、今まで祭神ゆかりの多くの宝物（神宝）が献納されてきました。しかし、公開してきた宝物は、伝新田義貞所用の鉄製銀象嵌冑鉢や結城宗広書状及び刀剣類といった指定文化財に限られ、他の宝物については広く紹介される機会はありませんでした。

この度、藤島神社のご理解とご協力を得、藤島神社創祀の源泉となりました新田塚建碑350年を記念して指定文化財は勿論のこと、その他の宝物を一堂に公開することになりました。



藤島神社



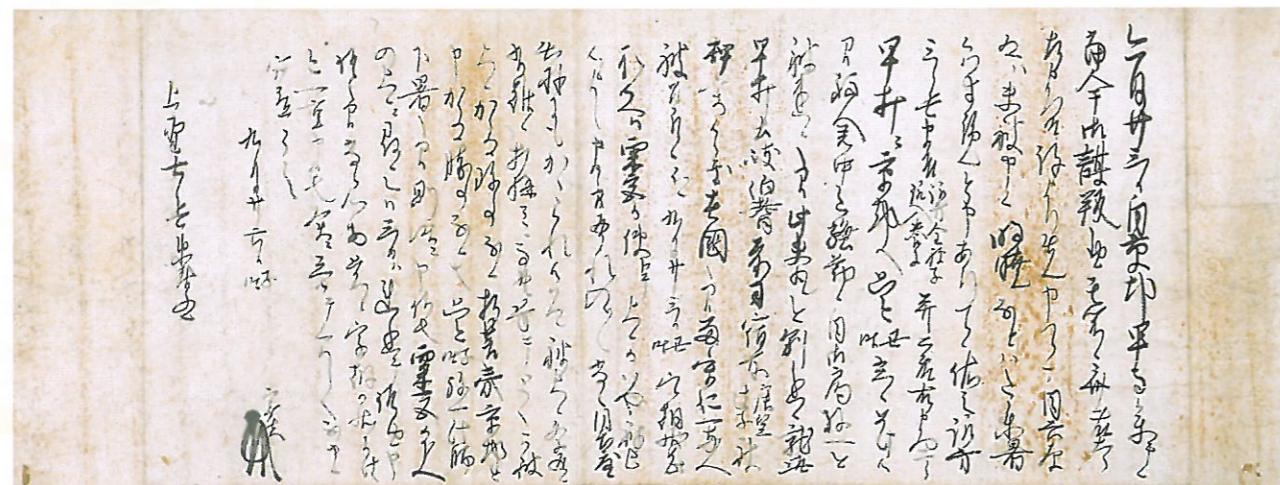
新田塚



宝物庫（宝庫）

I. 新田義貞と新田塚建碑

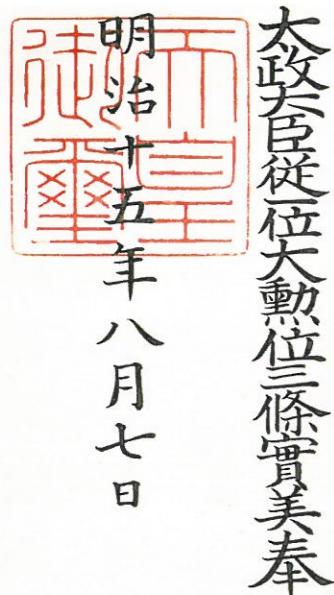
今から350年前の万治3年(1660)、新田義貞の戦死伝承地である現在の新田塚から新田義貞所用のものとおぼしき兜が発掘されました。これにより時の福井藩主松平光通は、この地に「にった よしさだせんし
このところ
此所」と刻した石碑を建て顕彰しました。藤島神社創祀の源泉はここにあります。



重要文化財 ④結城宗広書状 正中元年（1324）9月26日付

II. 藤島神社の祭神と神宝

藤島神社には皇室・旧皇族をはじめ越前松平家をはじめとする旧華族各家そして、新田一族ゆかりの人々から献納・奉納された神宝や宝物類が数多く伝えられています。これらの多くは今日まで宝物庫で保管されてきました。なかには、新田義貞・脇屋義助はじめ祭神の贈位書も含まれています。「吉野時代の忠臣」新田義貞に寄せられた景仰の軌跡はこれらの品々から窺えます。



明治十五年八月七日

大政委員従一位
贈正三位源朝臣義貞
贈正一位

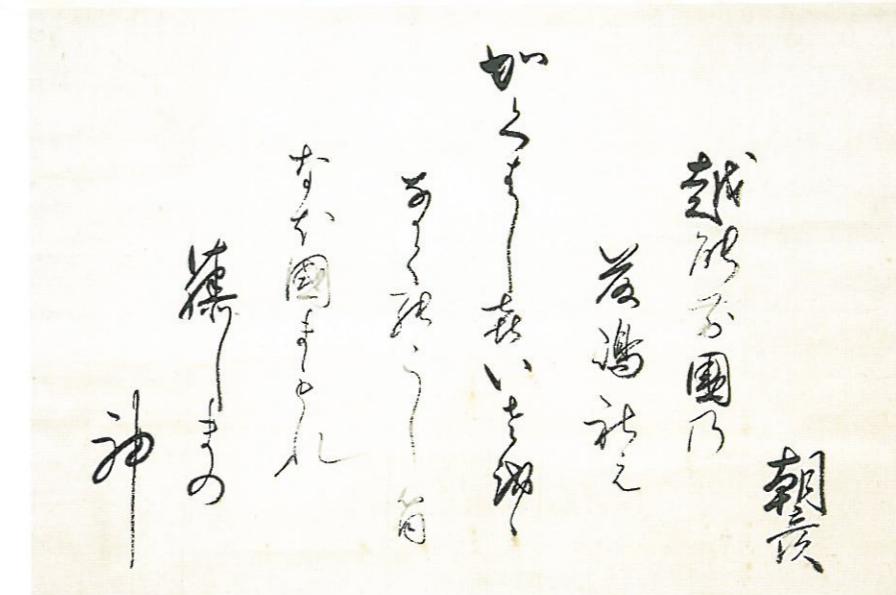


①新田義貞公奉宝劍於海神姿像



⑩新田義貞贈位記

重要文化財 ⑪鉄製銀象嵌冑鉢



⑨久邇宮朝彦親王御筆「越の前國の藤嶋社え(へ)」の和歌幅

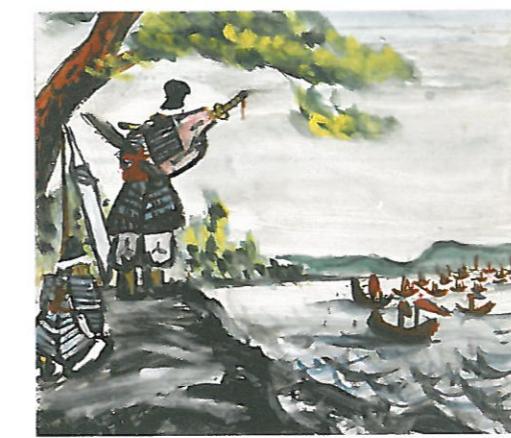
III. 藤島神社の祭祀と宝物

藤島神社では、祭神の贈位や記念大祭、天皇・皇太子の行幸啓、日露戦争や陸軍特別大演習の際の奉幣などの折、全国からのさまざまな奉納品がありました。

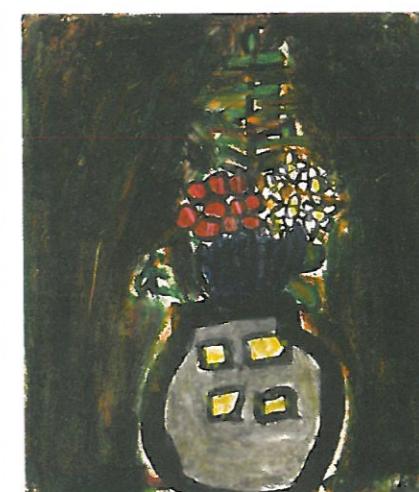
特に新田義貞600年祭事業として県内外の尋常小学校・中等学校の児童・生徒から募集しました絵画や書道作品は、福井市實科高等女学校と福屋デパートで展示されましたが、その後展示作品の多くが折本・画帳仕立てとされて宝物庫に保管されていたことが今回判りました。タイムカプセルの役割をも果たした宝物庫の眠りから今日覚めます。



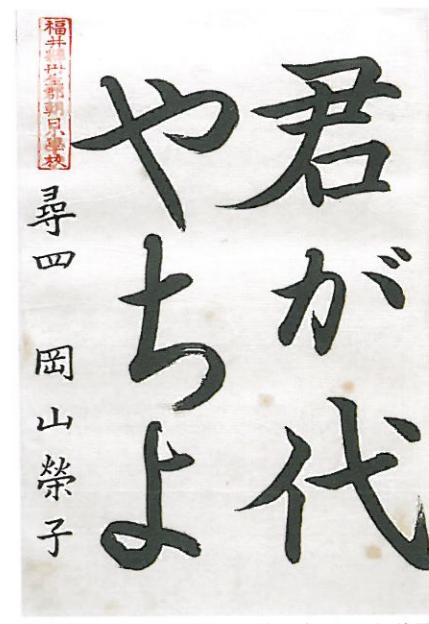
福井市宝永尋常小学校3年 原田和真



足羽郡東郷尋常小学校6年 池田次夫



福井市春山尋常小学校3年 水襄すてを



丹生郡朝日尋常小学校4年 岡山栄子